

令和4年度 くまの幼稚園の教育方針

教育目標

- 1 明るく、落ち着きがあり、意欲的に活動できる子どもに育てる
- 2 素直さと強い心を持った子どもに育てる
- 3 物を大切にし、思いやりのある子どもに育てる

具体的な行動で表現すると・・・

◎ あいさつや返事がきちんとできる

「おはようございます」「ありがとう」というあいさつや「はい」という返事が、素直に自然に出る子であってほしいと思います。

これからの時代を担っていく子どもたちが、学校生活や社会生活の中でうまく対応していくためには、あいさつや返事がきちんとできることが重要です。

基本的なルールやマナーを学び始める時期ですから、粘り強く取り組みます。

◎ 誰とでも仲良く遊ぶことができる

自己中心的な言葉や行動が多く見られる時期ですが、徐々に友だちのことを考えられる、相手の言葉を聞くことができるようになるのも、この時期の特徴です。相手の嫌がることは言わない、人を傷つけない、わがままを徐々に抑えることができるよう、保育のいろいろな場面で指導していきたいと思います。

また、自分と違う個性を持つ仲間と囲まれ、毎日生活することで、相手のすごいところを認めて真似をする、自分も頑張ろうと行動し、その中でうまくいったりいかなかったりする。そして、次はどうしたらよいかを考えるなど、友だちの中で成長する時期でもあります。

◎ 様々な体験を通して、体力や集中力、好奇心を高める

幼児期の運動能力は、知能の発達と関連が深いものです。園庭で遊ぶ時間を大切にしたり、縄跳びや鉄棒などに取り組みせたり、体操教室で体を動かしたり、サッカースクール（年中以上の希望者）で運動したりするなど、様々な運動に取り組みせることで、知能の発達を促し、子どもの社会性を高めます。

集中力は、おもしろい遊びに熱中したり、夢中になって取り組む体験を積み重ねることで伸びていきます。外の活動では思い切りのびのびと、教室では先生の話や製作等に集中させるという、メリハリのある保育を心がけていきます。

さらに、英語教室（年少以上）や音楽教室（年長・年中）、書道教室（年長）自然との触れ合い、収穫体験なども好奇心を刺激し、集中力を高めることにも繋がっていきます。生涯にわたっての学びの基礎を培う時期ですので、豊かな体験を積み重ねていきたいと思います。